

別紙

コミュニティのメンバー募集内容について

募集対象のコミュニティ

- ・ IT アーキテクトコミュニティ
- ・ 会員連携コミュニティ
- ・ 技術連携コミュニティ
- ・ 大学非常勤講師ネットワーク
- ・ アジャイルコミュニティ

(1) IT アーキテクトコミュニティ

1. 趣旨

IT アーキテクトが情報交流しお互いに切磋琢磨するコミュニティ

2. 狙い

情報交換を通じて参加者の能力向上を図る。

3. 活動例

- ・ 各社における IT アーキテクトの仕事範囲、保有スキル、設計方法論、育成方法、認定制度、処遇に関する情報交換を行う。
- ・ IT アーキテクトの重要性を発信するためのセミナー等を企画する。

4. 参加者(登録資格)等

会員、非会員を問わず、情報システム戦略を具体化するための情報システムの構造設計や、開発に必要となる要件の定義、システム方式の設計及び情報システムを開発する業務に従事する方

5. 事務局担当

企画調査部 大原道雄

(2) 会員連携コミュニティ

1. 趣旨

サービス化及び知識集約化を促進するための企業連携を目指すコミュニティ

2. 狙い

会員企業各社の製品やサービスに関する情報交換等を行い、参加メンバーの親睦と拡大を図り、ビジネス連携に結びつける活動を行う。

3. 活動例

- ・ 各社の製品やサービスに関する情報交換
製品やサービスの応用可能な分野、製品やサービスを所有する企業のニーズ(市場開拓、技術、技術を活かすアイデア等)の把握
- ・ 製品やサービスを集めたイベント・情報交換会等の企画開催

4. 参加者(登録資格)等

仲間作りとビジネス連携に関心のある会員企業の方

5. 事務局担当

企画調査部 尾股達也

(3) 技術連携コミュニティ

1. 趣旨

オープンソースをテーマとして技術者が情報を交換するコミュニティ

2. 狙い

オープンソースソフトウェア(以下「OSS」)の価値及びコミュニティ活動の意義を再認識し、OSSの活用を通じ、顧客のビジネス価値向上に資するシステムインテグレーションを検討する。

3. 活動例

- ・ 従来とは異なる OSS の価値を理解し、情報サービス事業者にとっての OSS の位置づけ、OSS 及び OSS コミュニティへの理解、OSS を含めた SI 提案の課題等を、ビジネスの観点から整理する。
- ・ OSS がもたらすソフトウェアイノベーション(ここでは「革新的なソフトウェアが、企業のビジネスモデルや社会システムに影響を与え、変革をもたら

すこと」と定義する。)の事例を収集し、顧客への提案を前提としたベストプラクティスを整理する。

- ・本活動の成果は参加者のノウハウとして基本的に参加委員のみで共有する。

4. 参加者(登録資格)等

- ・会員、非会員を問わない。
- ・オープンソースビジネス推進協議会(OBCI)と連携し、ディスカッションやワークショップを中心に活動する。(参加者名簿は OBCI と共有する。)
- ・運営は OBCI、会場手配等は JISA 事務局で行う。

5. 事務局担当

企画調査部 鈴木律郎

(4)大学非常勤講師ネットワーク

1. 趣旨

会員企業における大学非常勤講師(兼務者)等が交流することによって授業内容の充実を図るとともに、情報サービス産業の認知度向上を目指すコミュニティ。

2. 狙い

情報サービス業界と大学の双方に精通した講師陣による懇談会を通じて、大学側に対して実践的であり、学生にとっても魅力のある教育へと変革を求めていくことにより、将来のイノベーションを推進する人材あるいはそれを支える優秀な人材の獲得に繋げる。特に、学生との直接的な接点を持つ立場から正しい情報、知識、想いを伝えていくことにより、学生からの不人気や人材不足に悩む業界の問題改善に取り組むことができる。

また、参加者にとっては、情報交換と相互研鑽による視野の拡大が期待できる。

3. 活動例

懇談会を開催し、共通テーマのもとで各参加者が自らの視点と大学での実践に基づくプレゼンテーションを行い、意見交換を行う。テーマ案としては「大学における情報教育のあり方」、「優秀な人材の獲得に向けた学生の業界イメージ変革」、「世界からみた我が国における情報教育」等が考えられる。

4. 参加者(登録資格)等

会員企業の経営者・従業員で大学講師を兼任する方、産業界又は行政機関出身の方で IT 政策や情報サービス業に関わりの深い大学教員。(参加者の所属する学部・学科は問わない)

5. 事務局担当

企画調査部 増田菜里子

(5)アジャイルコミュニティ

1. 趣旨

アジャイル開発をテーマとして情報を交換するコミュニティ

2. 狙い

会員のアジャイル開発事例の情報交換を行い、ビジネスの拡大、普及を図る。

3. 活動例

- ・会員におけるアジャイル活用事例を収集しアジャイル開発への理解を深めると共に、現状の課題等について情報交換を行う。
- ・社内システムやパッケージの開発において、アジャイル開発を導入した事例の情報交換を行う。
- ・スピード経営へのアジャイル開発の活かし方について情報交換を行う。

4. 参加者(登録資格)等

会員、非会員を問わず、アジャイル開発の導入事例がある企業の方若しくはアジャイル開発に関わった企業の方

5. 事務局担当

企画調査部 溝尾元洋